

## 「周年行事」

セミの抜け殻に、我が身を思う今日この頃です(笑)。

今月7日に私が5代目会長を務める伊都倫理法人会の10周年行事があったため、お盆休みの間は、まさに燃え尽きていました。皆様は、この夏、いかが過ごされましたでしょうか？

年を取ったからなのか、それとも私が主催者だったからでしょうか、今回の周年行事は妙に感慨深いものでした。私はこの会で節目を祝う意義は、①事業の継続発展を祝う、②過去への感謝を深める、③未来への決意を新たにすることだと習いました。

そこで私達は周年行事の準備にあたり、会の設立に貢献された方々にインタビューをしていきました。会の歴史を振り返ると、いかに恵まれた状態で私に会長バッチが引き継がれてきたのかよくわかります。とりわけて初代会長から引き継がれる「一生懸命」(ひたむき)さは、伊都倫理法人会のDNAです。

設立にあたって汗を流した人の恩を知り、歴代会長はじめとする諸先輩方の苦勞を知り、今ともに活動してくれる仲間への感謝の念を抱くことで、更に良い会にする決意を新たにしました。

現在、会の運営は順調であるものの、私が自分一人で作り上げたものなど何一つありません。

だからこそ、私に求められているのは、今この瞬間を大事に、為すべきことを着実にこなしていくことだと思い至りました。

そして気が付けば、独立して始めた「りゅうま伝」も、まもなく5年。無我夢中で忘れかけていたとはいえ、仕事だけでなく家庭生活においても、節目をつけていきたいものです。

節目をつけることで、竹のように、しなやかに強い人間になっていけることでしょう。

また周年行事をしたことで幹事さんたちの一体感が高まったことも予期せぬ効用でした。

このようなイベントでは、想定外の出来事が沢山起こります。

タイムスケジュールがずれても皆が独自の判断で、会長である私の望む方向に対処してくれたのは不思議な体験でした。「心が揃うということはこういうことなのか！」と実感した次第です。これもチーム運営や事業に応用できる貴重な体験でした。

さて、「初心忘るべからず」とは、物事を始めた時の初心という意味だけではなく、その時々々の初心、周年行事のような節目の今、感じているこの気持ちも忘れてはなりませんよ、という意味もあるのだそうです。

私が今感じている「初心」を忘れることなく、残された任期(1年)を全うします。

ということで糸島界隈にカッコイイ経営者をお知りの方がいらっしゃれば、ご紹介ください(笑)。